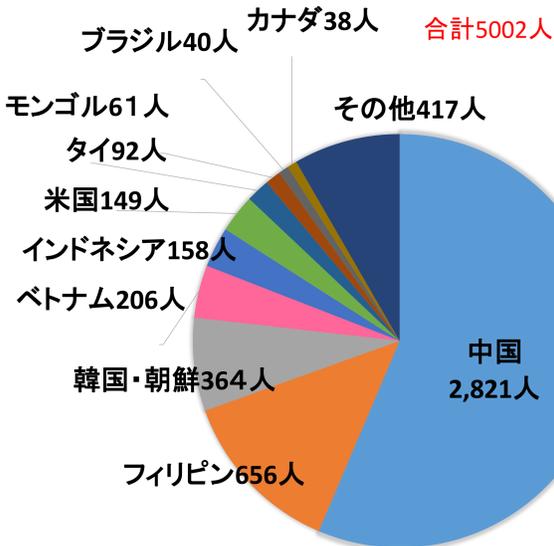


徳島で暮らす外国人のための日本語教育事業

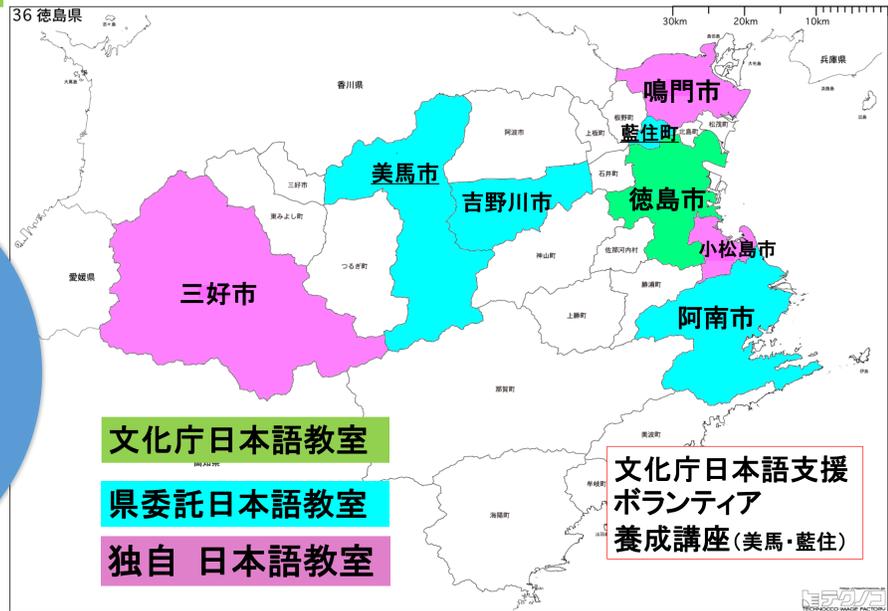
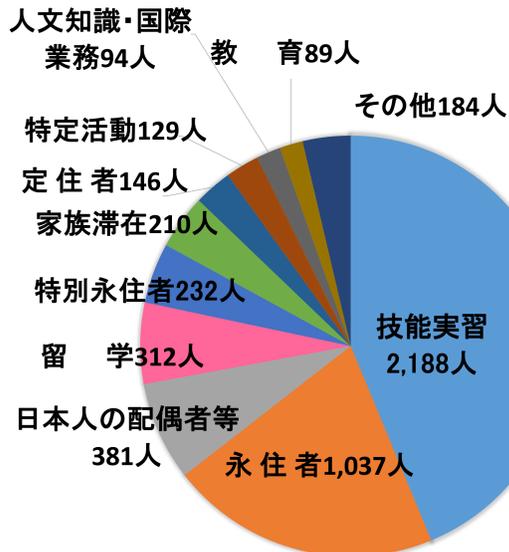
徳島で暮らす外国人の現状

日本語教室等の現状

国籍・地域別



在留資格(在留目的)別



出典: 在留外国人統計(法務省HPより) 平成25年12月末

①日本語教育の実施

受講者のレベルに合わせた、社会生活に必要な**日本語の修得を目的**とする。日常生活の様々な話題で、会話の実践的な練習を行うことにより**地域社会の中で円滑な生活ができる**ようにする。

火曜日から日曜日までの週6日 7クラスを開講 (うち3クラスはボランティアによるグループレッスン)

前期・後期それぞれ20回コース 10:30~12:00

受講者数
 前期: 13か国1地域 59人
 後期: 11か国 40人

TOPIA 日本語教室

Japanese Lessons 2013
 平成25年度後期TOPIA 日本語教室 受講案内

■クラスおよび講師
 ※クラスはそれぞれ全20回ずつです。教科書「みんなの日本語Ⅰ」または、「みんなの日本語Ⅱ」(第2版)が必要です。ただし、水・土曜日の「総合的・グループレッスン」受講者は、必要な場合のみ購入ください。
 ※一度納入した受講料は、途中で受講しなくても返金しません。

日	時間	講師	講義内容	開始日
火	10:30~12:00	初級Ⅱ 元木	動詞のいろいろな活用形を学び、豊かな表現を学習する。 『みんなの日本語Ⅱ』 26 課から	10/1
水	10:30~12:00	総合的グループレッスン	サロン形式で、学習者のニーズに応じて自由に日本語を学ぶ。 *子育て中の方は、隣の会議室で開講する子育てサロンで保育士に子どもを預けることができる(要予約)	10/2
木	10:30~12:00	入門 山田	日本語の基本的な表現を初歩から学習する。 『みんなの日本語Ⅰ』 1 課から	10/3
金	10:30~12:00	初級Ⅰ 青木	動詞のいろいろな活用形、また、それらを使った文型を学習する。 『みんなの日本語Ⅰ』 14 課から	10/4
土	10:30~12:00	総合的グループレッスン	サロン形式で、学習者のニーズに応じて自由に日本語を学ぶ。	10/5
日	10:30~12:00	初級Ⅲ JTM	初級後半、理由、受身、使役、敬語表現などを学ぶ。 『みんなの日本語Ⅱ』 38 課から	10/6
	10:30~12:00	入門・初級Ⅰ 初級Ⅱ・中級グループ学習	週末しかトピアの日本語教室に参加できない学習者のための教室。『みんなの日本語Ⅰ』 1 課~13 課と、14 課~25 課『みんなの日本語Ⅱ』 26 課~37 課と、中級の4つに分け、レベルに合うグループで学習する。 なお、どこにも該当しない方のためのクラスを1つ併設する。	10/6

- 対象 徳島県在住の外国人
- 場所及び連絡先 公益財団法人 徳島県国際交流協会(TOPIA) 徳島クレストプラザ6F 〒770-0831 徳島市幸島本町西1-61 徳島クレストプラザ6F Tel. 088-656-3303 FAX: 088-652-0616
- 受講料 1,800円(全20回)。ただし、申し込み時、受講回数10回未満の場合は750円になります。(資料代含む)
(クラスのレベルが合わない等の理由でクラスを変更する時は、届け出をすれば、2度払う必要はありません。)
- その他 ①教科書『みんなの日本語Ⅰ』または、『みんなの日本語Ⅱ』(各2025円) (第2版)が必要。②受講希望者はTOPIA カウンターにて申し込みください。③2クラス以上の受講を希望する場合は、受講するクラス数分の資料費をお支払いください。④申し込み後クラスを変更したいときには、必ずTOPIA 職員にお申し出ください。

※状況により講師が変わることもあり得ますので、ご了承ください。
 ※天候(台風・大雨・大雪)の状況により急に休講になることがあります。ご了承下さい。その場合、クラスがあるかないか分からない場合は電話でご確認ください。(088-656-3303)【午前10時~】



②日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

日本語指導ボランティア養成講座 & スキルアップ講座

日本語指導ボランティアを養成することで、県内日本語教育を拡充させることを目的とする。また講座修了者(80%修了した者)は、地域の外国人の日本語学習支援者として活動する。

養成講座: 県内2カ所で96時間の講座
 スキルアップ講座: 県内2カ所で4時間の講座

藍住会場	
養成講座 授業概要 (1回4時間)	
1) 1) 外国語としての日本語	2) 日本語の文字と音
2) 1) 2課~8課	2) 「こそあど」「~ます」、「数・時間関連の表現」、「形容詞」
3) 1) 9課~13課	2) 「存在文」「助数詞」、「形容詞(比較表現)」、「~たいです」
4) 1) 14課~18課	2) 「動詞のグループ」、「て形」、「ない形」「辞書形」、文型
5) 1) 19課~23課	2) 「た形」「普通形」「丁寧体と普通体の会話」、「名詞修飾」、「~とき」
6) 1) 24課~25課	2) 「~たら~ても」 2) 総まとめ、質疑応答
7) 1) 『みんなの日本語Ⅰ』復習	2) 『みんなの日本語Ⅱ』 26課、27課 3) 発声練習
8) 1) 28課~32課	2) 「~ています」「~ておきます」「~てあります」、「意向・予定」など
9) 1) 33課~37課	2) 「命令・禁止形」「~とおりに」「条件形~ば」、「~ように」、「受身形」
10) 1) 37課~42課	2) 「受身文」、「~の(名詞化)」、「原因理由」、「間接疑問」など
11) 1) 43課~47課	2) 「~そうです(様態・推量)(伝聞)」「~ようす」など
12) 1) 49・50課	2) 「敬語・待遇表現」(尊敬・謙譲・丁寧) 3) 総まとめ、質疑応答
美馬会場	
スキルアップ講座 授業概要 (1回 1時間)	
1) 1) 概要説明	2) 『教材例集』からテーマを選び、身近な教材を使って教えてみよう
2) 1) 活動案「目的地まで徒歩で移動する」の作成	2) 教え方実習



受講者数
 藍住会場: 前期19人.後期22人(全員日本人)
 美馬会場: 前期10人.後期10人(日本人・中国人)

③日本語教育のための学習教材の作成

日本語教材
「ええじょ！とくしま」・「徳島まるごと地図」・「徳島写真パネル」

徳島で生活する外国人県民が、円滑に、そして楽しく生活することができるよう、情報(公共施設の場所や観光地・特産品、方言など)をまとめてテキストにした。
またそれらがどこにあるか分かるよう「徳島まるごと地図」を作成したほか実際の授業で受講者にわかりやすいよう、写真パネルもあわせて作成した。



平成25年度の課題をふまえて………！

- I 昨年度後期 受講生(主に中国の実習生)が激減 → アンケート・中国語での電話インタビュー → 変化なし
↓
新しい受講者を開拓し募集するべく広報活動に力を入れている。
(ホームページ／英語・中国語情報誌／実習生組合／関連施設での掲示／新聞／ebooksなど)
- II 魅力ある授業を目指して → ボランティアのスキルあげるため
①スキルアップ講座の内容充実 ②日本語講師の授業を公開
③ボランティアのクラスを見学し日本語講師がアドバイス・フォローアップなどの実施
- III 出席カードの作成 → ①受講者のモチベーションをあげる
②受講内容の単元や受講項目がわかる(26年後期～)
- IV 短期集中型の教室の導入を検討中



徳島県

(公財)徳島県国際交流協会

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業【地域日本語教育実践プログラム(A)】

徳島で暮らす外国人のための日本語教育事業

徳島で暮らす外国人の現状

日本語教室等の現状



出典：在留外国人統計(法務省HPより) 平成25年12月末

①日本語教育の実施

TOPIA 日本語教室

受講者のレベルに合わせた、社会生活に必要な日本語の習得を目的とする。日常生活の様々な話題で、会話の実践的な練習を行うことにより地域社会の中で円滑な生活ができるようにする。

火曜日から日曜日までの週6日 7クラスを開講 (うち3クラスはボランティアによるグループレッスン)

前期・後期それぞれ20回コース 10:30~12:00



日本語指導ボランティアの養成・研修の実施

日本語指導ボランティアを養成することで、県内日本語教育を拡充させることを目的とする。また講座修了者(20%修了した者)は、地域の外国人の日本語学習支援者として活動する。

養成講座:県内2カ所所で96時間の講座
スキルアップ講座:県内2カ所所で4時間の講座



受講者数
前期19人、後期22人(全員日本人)
前期10人、後期10人(日本人・中国人)

②日本語教育のための学習教材の作成

日本語教材
「ええじょ!とくしま」・「徳島まるごと地図」・「徳島写真パネル」

徳島で生活する外国人県民が、円滑に、そして楽しく生活することができるよう、情報(公共施設の場所や観光地・特産品、方言など)をまとめてテキストにした。またそれらがどこにあるか分かるよう「徳島まるごと地図」を作成したほか実際の授業で受講者にわかりやすいよう、写真パネルもあわせて作成した。



平成25年度の課題をふまえて……!

- Ⅰ 昨年度後期 受講生(主に中国の実習生)が激減 → アンケート・中国語での電話インタビュー → 変化なし
↓
新しい受講者を開拓し募集するべく広報活動に力を入れている。(ホームページ/英語・中国語情報誌/実習生組合/関連施設での掲示/新聞/ebooksなど)
- Ⅱ 魅力ある授業を目指して → ボランティアのスキルあげるため
①スキルアップ講座の内容充実 ②日本語講師の授業を公開
③ボランティアのクラスを見学し日本語講師がアドバイス
- Ⅲ 出席カードの作成 → ①受講者のモチベーションを
②受講内容の単元や受講
- Ⅳ 短期集中型の教室の導入を検討中

徳島県の取り組み

